

# 第20期 中間株主通信

2019年4月1日 >> 2019年9月30日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第20期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

代表取締役社長

巻野 徹



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国と中国の通商摩擦が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性及び金融資本市場の変動の影響が懸念されるなか、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復基調のうちに推移しました。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、東京都心部を中心とした再開発事業や2020年東京オリンピック・パラリンピック関連工事等により、高水準の建設需要が続いております。

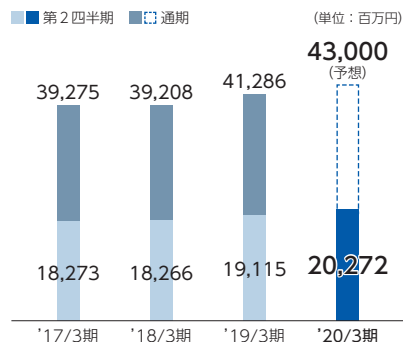
工業製品・エンジニアリング事業領域では、造船業界における国内各造船所の建造隻数は減少傾向が続きましたが、電力業界では主要な電力構成を占める火力発電所のメンテナンス需要が堅調に推移しました。

このような環境の下、当社グループは「2020中期経営計画（2018年度～2020年度）」に基づき、労働生産性の向上、積極的な開発・投資、事業領域の拡大に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は完成工事高9,386百万円を含み20,272百万円（前年同期比6.1%増収）、営業利益1,617百万円（前年同期比34.2%増益）、経常利益1,642百万円（前年同期比39.4%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,099百万円（前年同期比53.1%増益）となりました。

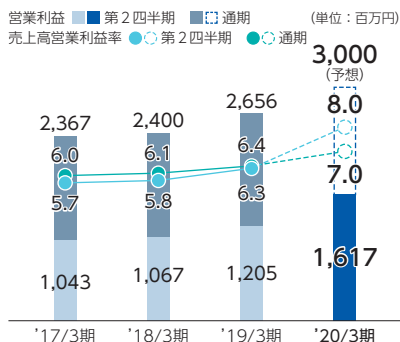
営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト／通期の見通し

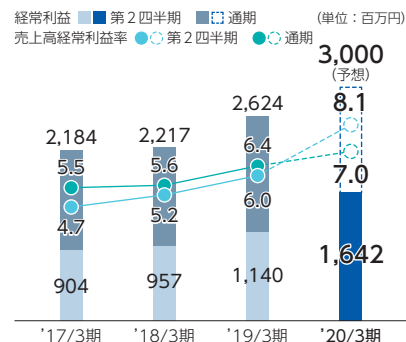
## 売上高



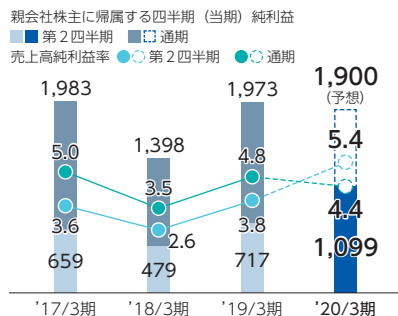
## 営業利益／売上高営業利益率



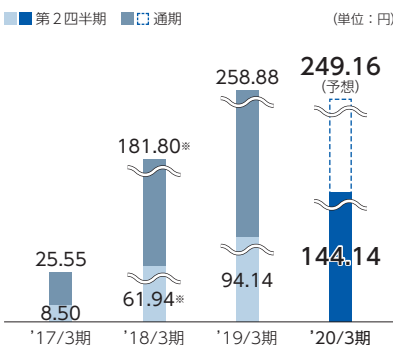
## 経常利益／売上高経常利益率



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 売上高純利益率



## 1株当たり四半期(当期)純利益



※2017年10月1日付で当社普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。'18/3期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## 通期の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2020年3月期 配当予想
2020年3月期 連結業績予想	430億円 ( '19/3期比4.2%増 )	30億円 ( '19/3期比12.9%増 )	30億円 ( '19/3期比14.3%増 )	19億円 ( '19/3期比3.7%減 )	1株につき 50円 ( '19/3期比15円増 )

# 事業概況 ～ 当社グループの製品は日々の暮らしの中で活躍しています ～

## 建設・建材事業部門

売上高 **9,760** 百万円 (前年同期比 **7.1** %増)

### 材料販売

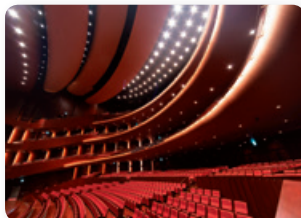
主力商品である けい酸カルシウム板「ハイラック」及び曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」の輸出は米中貿易摩擦等の影響を受け出荷が減少しましたが、国内の出荷は好調な需要が続いており、順調に推移しました。また、内装不燃化粧板は、昨年度に上市した施工現場での施工時間を短縮し、廃棄物の量の低減となる、テープのみで施工が可能な新たな工法「スタンド Speed工法」が市場に普及し、堅調な出荷状況となりました。耐火二層管は、首都圏の再開発施設やオリンピック関連施設向けに受口付きパイプや発泡三層管の受注が底堅く推移しました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

### 工事

首都圏の再開発事業、大型商業施設、宿泊施設向けの耐火被覆工事は好調な工事受注が続いたほか、当社の内装不燃化粧板を使用した建材工事も順調に推移し、完成工事高は増収となりました。



浅野耐火パイプ



エフジーボード



ハイラック



護免火



スタンドシリーズ



トンネルライト

## 工業製品・エンジニアリング事業部門 売上高 10,489 百万円 (前年同期比 5.1%増)

### 材料販売

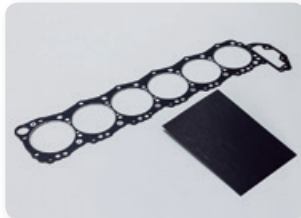
鉄鋼関連では、海外鉄鋼メーカー向け炉内搬送ロール「ディスクロール」の需要が減少しましたが、国内製鉄所向け商材は堅調な出荷となりました。船舶関連は、防火区画の多い客船や特殊船が減少し、自動車関連では国内外で先行き不透明な状況が続いておりますが、プラント関連では、火力発電所の安定的なメンテナンス需要に加え、積極的な設備診断の実施により国内外で非金属製伸縮継手「APコネクター」の販売が好調に推移しました。材料販売全体の売上高は減収となりました。

### 工 事

旺盛な工事引き合いが続いており、現場の作業員不足による工期の遅れが懸念されるものの、プラント向けメンテナンス工事を中心に、大型物流施設パネル工事、冷凍船等の防熱工事等が好調に推移し、完成工事高は増収となりました。

## そ の 他

売上高 22 百万円 (前年同期比 16.3%減)



セミメタリックガスケットシート



APコネクター



卵形タンク外装工事



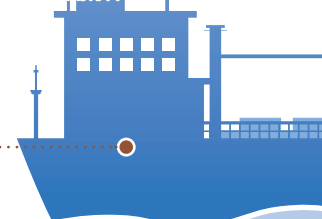
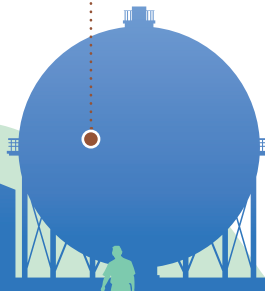
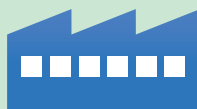
LNG保冷配管工事



ブレーキライニング



船舶艦装用材料



# エーアンドエーマテリアルグループ会社のご紹介

株式会社アスクテクニカ Ask Technica Corporation

## 会社概要

設立 1991年5月15日（平成3年）  
資本金 4億円  
代表者 代表取締役社長 金井 徹  
所在地 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1488番地  
TEL 055-272-1151（代表）  
HP <https://www.asktechnica.co.jp/>

## 取扱製品

シール材 ジョイントシート：耐圧、耐熱、耐油、耐薬品のある配管パッキン など  
ガスケットシート：自動車用シリンダーヘッドガスケット  
ミルボード：鉄鋼など薄板製造ラインの搬送用ロール など  
加熱膨張材：住宅用延焼防止材 など  
摩擦材 ブレーキライニング：二輪車用・軽四輪車用ブレーキ  
産業機械用摩擦材：産業ロボット、エレベーター、クレーンのブレーキ など

「快適」とは何か。単に止まれば良いのではなく、単に隙間を埋めれば良いのではなく、人にもモノにも優しく心地良い状態で居続ける、これが我々のめざす『技術』です。1944年（昭和19年）に東京工場の移転先として（旧）朝日石綿工業株式会社山梨工場が新設され、1991年（平成3年）に、自動車関連事業部門として分社独立しました。以後「快適な未来へ日々前進」のスローガンのもと、社員一丸となって技術を追求しております。

また、海外展開としてPT.アスクテクニカインドネシアにおいて、ブレーキ事業及びAPコネクター（非金属性伸縮継手）事業を行っております。これをアジア展開の足掛かりとして、商圏の拡大をめざしてまいります。



## 2020中期経営計画（2018年度～2020年度）初年度の業績について

「2020中期経営計画」の初年度にあたる2018年度の連結業績は以下のとおりとなりました。

	2018年度 実績	2020年度 目標
売上高	41,286 百万円	45,000 百万円
営業利益	2,656 百万円	3,000 百万円

「持続的な発展を実現し、企業価値を高める」をグループスローガンに、好調なスタートを切ることができました。また、労働生産性の向上、積極的な開発・投資、事業領域の拡大の基本戦略についても、担当部署を中心に取り組みを始めました。2019年度はさらなる飛躍をめざし邁進してまいります。

### エーアンドエーマテリアルグループスローガン

持続的な発展を実現し、企業価値を高める

基本戦略 ▶ ガバナンス・品質管理・人材育成の強化を行い、持続的な成長をめざします。

- 1 労働生産性の向上 [働き方改革]
  - 生産部門 ▶ AI、IoTの活用
  - 工事部門 ▶ 週休2日制の対策
  - 営業、事務部門 ▶ 残業ゼロへの取り組み
- 2 積極的な開発・投資 [高付加価値商材拡大]
  - 新製品、新工法の開発
  - 高付加価値化によるさらなる収益力拡大
  - メンテナンス診断と技術的サービスの向上
- 3 事業領域の拡大 [固定概念の打破]
  - 周辺事業の取り込み（OEM、業務提携、M&Aなど）
  - 海外事業の推進（東南アジア地区）

# 会社概要／株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 1. 会社概要

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設立	1924年3月4日(大正13年)
電話	045-503-5760(代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	884名(連結) 225名(単体)
子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 関東浅野パイプ株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪

## 2. 株式の状況

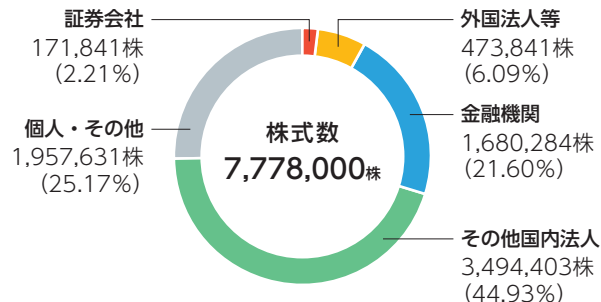
発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,759,675株 (自己株式18,325株を除く。)
株主数	4,885名

## 4. 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,723	3.50
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社みずほ銀行	2,013	2.59
MSIP CLIENT SECURITIES	1,981	2.55
株式会社三井住友銀行	1,884	2.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,394	1.79
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	1,317	1.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,017	1.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	858	1.10

(注) 持株比率は、自己株式18,325株を控除して計算しております。

## 5. 所有者別分布状況



## 3. 役員

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹
取締役専務執行役員	中村 宏之
取締役専務執行役員	新川 篤志
取締役常務執行役員	侯 雷
取締役常務執行役員	弟子丸 茂明

取締役(社外)	田倉 榮美
取締役(社外)	東海 秀樹
常勤監査役(社外)	毛利 裕
常勤監査役	大和田 彰
監査役(社外)	松井 功

### 執行役員

執行役員	来嶋 久雄
執行役員	太見 健志
執行役員	工藤 誠司
執行役員	大島 武人
執行役員	高原 一登

## WEBサイトのご紹介

当社では企業活動に関するお知らせや資料などをWEBサイトに公開しており、随時最新版が同サイトで確認できるようになっております。

🔍 エーアンドエーマテリアル 検索

<https://www.aa-material.co.jp>



トップページ



IR情報トップ

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### 剰余金の配当基準日

3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）

### 定時株主総会

毎年6月中

### 単元株式数

100株

### 株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

### 公告方法

電子公告（<http://www.aa-material.co.jp>）  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法 の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の 店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できません のでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 及び みずほ銀行の本店 及び 全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

**AAAM** 株式会社 エーアンドエー マテリアル

〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号  
電話 045 (503) 5760 (代表)

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

